

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

子どもが生まれた家庭に子育て関連グッズを贈る取り組みを総社市が始めました。記事を読んで質問に答えましょう。

てい かく ねん
**低学年も
 チャレンジ!**

Q1

おくられるしな まんえんそうとう
 贈られる品は3万円相当になります。あなたが育児をする立場なら、どんな気持ちになりますか。グッズの種類も参考にしながら考えてみよう。

Q2

グッズは全部で5点あります。次の三つのうち、間違っているものを一つ探して、答えてみましょう。

- ① 総社市内のパン店で使える商品券
- ② 紙おむつやお尻拭きが購入できるクーポン
- ③ 総社市のPRキャラクター・チュッピーの祝福メッセージカード

総社

育児の経済負担減らしたい

クーポンやおむつ袋など5点がセットになった「そうじゃ出産おめでとうギフト」



紙おむつやお尻拭きが市内17事業業者で購入できる2万8千円分のクーポン▽市指定有料ごみ袋(20リットル100枚)▽市内の障害者就労継続支援事業所が製作し、育児用品を入れて持ち歩けるトートバッグ▽市のPRキャラクター・チュッピーの祝福メッセージカード▽絵本の5点セット。

3万円相当グッズ贈る

4月1日以降に赤ちゃんが誕生した市民が対象で、出生後に他市から転入した人は除く。通常は生後2カ月ごろに保健師らが行う訪問事業に合わせて渡す。事業費2千万円。

贈呈式には代表して3家族が参加し、片岡聡一市長が「子どもたちがすくすくと成長していけるよう協力する」と述べ、ギフトを手渡した。4月3日に生まれた第4子の長男慈雨ちゃんと出席した岡崎真世さん(35)「同市久代」は「クーポンが大変助かる。応援されているようで励みになる」と歓迎した。

市内の2023年度の出生数は474人(前年度比50人減)。本年度は17日現在68人。

市「出産おめでとうギフト」開始

総社市は本年度から、子どもが生まれた家庭に総額3万円相当の子育て関連グッズを贈る「そうじゃ出産おめでとうギフト」事業をスタートし、17日、市役所で記念の贈呈式を開いた。人口増に向けた政策パッケージの目玉の一つで、育児の経済的負担軽減を図り出生数増加につなげる狙い。(寺尾彰啓)



片岡市長(左)からギフトを贈られる家族

2024年5月18日付、備中面

Q3

総社市で2023年度に生まれた赤ちゃんは474人です。前の年(22年度)は何人でしたか。記事を参考に答えましょう。

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

過去の問題は
 こちらから▶▶

